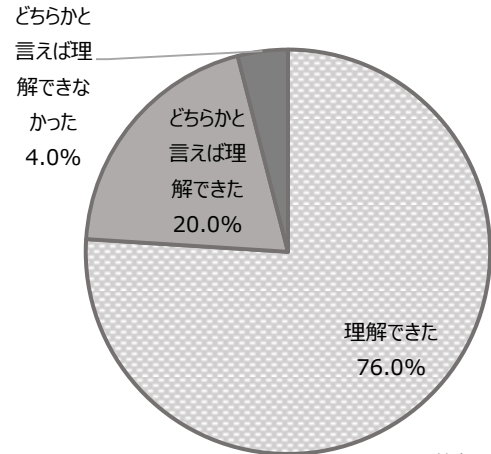


アンケート結果

Q 1 : 今回の勉強会の内容について理解できましたか。

	回答数	構成比
理解できた	19	76.0%
どちらかと言えば理解できた	5	20.0%
どちらかと言えば理解できなかった	1	4.0%
理解できなかった	0	0.0%
無回答	0	-
計	25	100.0%



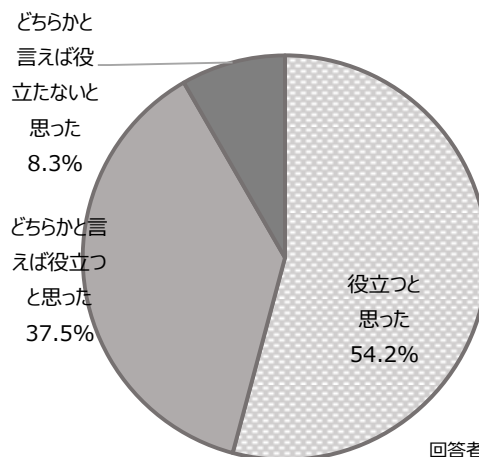
回答者 : 25 人

Q 2 : 勉強会の内容で良かった点は何ですか。

- ☐ 全体計画がいいと思う。
- ☐ 具体的な計画である。
- ☐ 今後の事業行程が理解できた。
- ☐ 資料にもとづいた説明で大変理解できた。
- ☐ 中核となる施設の誘導、地形を考慮した土地利用の在り方、文化財、自然資源を活用した土地利用の在り方、眺望、環境への配慮。
- ☐ 具体的に計画を基にした進捗がされているのを聞いて良かった。(案だけではなく、既に行動が進められている)
- ☐ 個別説明会を行った、準備をしても充分ではないが、していたから対応できた。
- ☐ 跡地利用計画がバーチャルで見れてイメージが出来た。
- ☐ バーチャル・リアリティを使っでの説明がわかりやすくて良かった。
- ☐ バーチャルを使っでの説明は良かった。
- ☐ パワーポイントを使って、未来の建物・道路を画面に映していたこと。
- ☐ 全体的に、レジメに基づいて理解しやすい説明だった。VR 説明が良かった。
- ☐ 多和田課長の説明内容も具体的な話であり、また山城氏のスライド式（VR での手法？）の流れる画像の点が特に良かった
- ☐ VR を使った説明で分かりやすかった。
- ☐ 西普天間の跡地利用計画が具体的に聞いて良かった。今後の那覇軍港へ活かしたい。
- ☐ 西普天間地区跡地利用計画を勉強することができて良かった。とても分かりやすかった。
- ☐ 西普天間住宅地区土地利用計画で特に参考となったのは、国際医療拠点ゾーン、人材育成拠点ゾーンの計画面積が返還面積の約 50%強（24/57ha）と、公共性の高い施設利用土地計画となっている点。
- ☐ 時系列で何を行ったのか、具体的に分かりやすかった。
- ☐ キャンプ瑞慶覧跡地利用計画、ビデオ等のコンセプト。
- ☐ 住民構想から琉大病院計画への再構計画。
- ☐ 琉大（医学部）の普天間（空港）に移設の予定は大賛成である。
- ☐ 計画策定の経緯が非常によい。
- ☐ 利用計画策定委員会を設けて必要調整を行ったこと。
- ☐ 先行取得の件が勉強になった。
- ☐ 新聞紙上での件で重複的で理解できた。
- ☐ 都市公園の整備について具体的な説明が必要と感じた。

Q3 : キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）の跡地利用計画は、那覇軍港跡地利用計画の策定に向けて役立つと思いませんか。

	回答数	構成比
役立つと思った	13	54.2%
どちらかと言えば役立つと思った	9	37.5%
どちらかと言えば役立つ立たないと思った	2	8.3%
役立つ立たないと思った	0	0.0%
無回答	1	-
計	25	100.0%



Q4 : Q3で「役立つ」または「どちらかと言えば役立つ」とお答えの場合、どの点が特に役立つと思いましたが。一方、「役立つ立たない」または「どちらかと言えば役立つ立たない」とお答えの場合、どのようなことを勉強しておくと思うと役立つと思いますか。

【役立つ・どちらかと言えば役立つ】

- 文化財の件、国・県・市は何を扱うか又その財源等は？
- 那覇軍港跡地利用計画に多少なりとも役立つと思った。
- 様々な事例が役立つ。
- 国・県を参画させる方法論。
- 合意形成に向けてのアプローチ（回数とレベル）。
- 土地利用計画の時点に合った修正。
- 課題の抽出と明確化、それへの対応の考え方。
- 跡地利用計画について、地主と市だけでなく県と国を巻き込んで計画作りをしてきたということ。
- 地権者の意向を尊重している姿勢が評価できる。
- 先行取得（土地の）、住民へのアンケート実施及びアンケート結果のフィードバック。
- 4回にわたり地権者の意見（アンケート）を基に跡地利用を計画していることは良い。地権者を理解させる事&住民の希望は大事。
- 今後、返還に向けての地権者との手続き。
- 西普天間住宅地区土地利用計画で特に参考となったのは国際医療拠点ゾーン、人材育成拠点ゾーンの計画面積が返還面積の約50%強（24/57ha）と、公共性の高い施設利用土地計画となっている点。
- 一括交付金で事業が大いに促進していること、魅力ある内容のある跡地計画の話だった。
- 検討委員会、又地主との説明会が多く地主側とのスムーズな勉強が出来たと思う。
- 那覇軍港についても計画が分かるようにバーチャルで地権者に見せた方がいいと思う。
- 地権者との説明会、話し合いが2年間で多く行なわれた。地権者の意見を汲んでもらうためにも、もっと地権者は興味を持つべきだし、どのようにすると興味を持ってもらえるかを勉強しておくとういと思う。
- 地主の方への説明は、資料等だけでは理解できない方もいると思いますので今後役立つと思う。
- 立地条件の違いがあると思うが、先行実績を参考にしながら、これからどう那覇軍港跡地利用するか勉強した。
- 那覇軍港と普天間は環境的に場所が根本的に違う。
- VR説明は理解しやすい。
- 口頭や冊子などの挿絵もいいが、VRを使つての説明の方が現実味があっていいと思う。
- VR作成は分かりやすい。
- 多方的なゾーニング計画が良いと思う。

【役立つ立たない・どちらかと言えば役立つ立たない】

- 何年後にかえてくるのか分からないので、その時に手を挙げる経営者がいるのかどうか。

Q5：今後の勉強会でテーマとして希望する内容があればお書きください。

- 事業手法（具体的な）。
- 今日のようなテーマを探してほしい。
- 合意形成に向けての効果的な方法、手順。
- 中核となる施設の導入にあたってのコーディネーターはどこに求めれば良いか。
- 浦添市の新基地建設の取組みはどこまで進んでいるのか、市の担当者の説明を受けたい。
（特に埋め立て工事計画）
- 跡地利用例。
- このように他施設との事例も並行して行う。
- まだ時間があるので、色々な（海外も含む）跡地利用例を勉強したい。
- 魅力あるまちづくりと集客性のある跡地利用計画と地権者の不利益にならないようにしてもらいたい。
- 西普天間住宅地区は平成 26 年 1 月の事案で計画されていた観光関連ゾーンが平成 27 年 7 月の庁議決定で廃止されている点について那覇軍港跡地利用計画も公共性の高い施設として、医療・人材育成に特化の検討必要。観光施設は県内に多数計画有り、必要性が低い。
- 返還された土地活用が現在の既存のまちとどう関係していくのか。
- MICE 導入は他地区になった、次の跡地利用は難しい状態化にあり、継続使用が基本であればその方面も。
- 雇用がいっぱいできる大型施設が欲しい。
- 垣花の跡地利用計画、イメージ図を数多く、今後の勉強会に取り入れて欲しい。VR 利用もお願いしたい。
- 地権者に対する合意、跡地利用の件、面談。
- 先が見えない勉強会は好ましくない。

Q6：那覇軍港の跡地利用についてなど、ご意見がございましたらご記入ください。

- 引き続き他の事例等を参考にしながら独自性のあるまちづくりを進めるべき。
- 先進事例等を合意形成に向けて良いと思う。
- 跡地は、地主や市の考えだけでなく、国として沖縄をどう位置付けるかというブランドデザイン、それを踏まえて県全体をどうゾーニングするかという大きな視点の中で計画作りをしなければならない。
- 公共の施設に使用して欲しい。
- 要望していた中核施設となるマイスの案が無くなった、道を挟んで医療施設が出来た、インバウンドが急激に伸びてきた等々、周辺施設や社会環境への変化を考慮した計画の修正・検討。
- 県・市に売却したい。貿易港、フリーゾーンを拡充新設してはどうか。浦添移転は新基地建設になるから反対。
- 地代の変化に対応できる、安定的な跡地利用に出来たらいい。
- グローバルな時代を見通した経済基盤の跡地利用をしてもらいたい。
- 当該地区の跡地利用は、公共性の高い施設として地権者の住宅等の土地利用計画を今後どのような方向性を持って調整し策定していくのか地権者と行政当局との合意の形成必要。公共性の高い施設としては市立病院等地域医療施設、人材育成施設としての臨海の特性を活かした海洋大学等の施設を導入する検討が必要と考えられる。
- 商業施設（スーパー）はやらない方がいいと思う。（皆同じ町になっているから）付加価値のある利用（証券街、金融街）
- 議論した宮古、八重山、与那国でも自衛隊の施設がこれまではっきりしている為、また浦添移転の話も矛盾が感じられる。嘉手納以南の SACO 合意と似合わないのでも米軍が引き上げれば、海上自衛隊、保安庁でそのまま考えたら良いのではないか。
- 新しい町が、当県に少ないウォーターフロントを中心にした町、垣花の歴史文化を取り入れたまちづくりを考えてもらいたい。
- 大型ショッピングセンター、大型商業施設（雇用ができるもの）と、港なので大型のコンベンション施設が欲しい、又は大型ホテル郡が欲しい。
- 軍港跡地利用は空想論で好ましくない。